

取扱 説明書

2 in 1 Purify + Humidify
2 in 1 加湿空氣清淨機

DH3i

目次

ご使用前に、本書を必ずよくお読みください。
本書は紛失しないよう、大切に保管してください。
本書の最新版データは、www.blueair.jp に掲載されています。
尚、意匠・仕様・ソフトウェアは製品改良のため予告なく変更する場合があります。

目次

安全上のご注意	3
本商品について	7
初めて使うとき	8
各部名称	9
加湿ユニットの各部名称	10
操作パネルの使い方	11
オートドライモード	13
空気質の表示	14
お手入れする	15
本体を移動する	26
困ったときは	27
主な仕様	29

安全上のご注意

本商品は屋内使用専用です。安全を十分に考慮して設計されておりますが、一般に電気製品は取り扱いを誤ると大きな事故につながる場合があります。次の注意事項をお守りになり、安全にご使用ください。



警告

次の警告事項を必ずお守りください。警告を守らずに使用した場合、火災や感電などにより使用者の死亡や大けがを伴う事故につながる場合があります。



指示

この行為を必ず実行してください。

煙が出る、変な臭いがするなどの異常、および部品の破損、故障時には、ただちに使用を中止する、明らかに損傷している場合、稼働させない

そのまま使い続けると、発火や感電の原因になるおそれがあります。異常を感じた場合は、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜き、「ブルーエアサービスセンター」へご連絡ください。

電源プラグを電源コンセントに差し込むときは、まっすぐに突き当たるまで差し込む

電源プラグが外れかけたまま使用すると、感電や火災の原因になります。

交流100Vで使用する

本商品は日本国内専用です。交流100V以外で使用すると、火災の原因になります。

電源プラグと電源コンセントの接続部分は、ホコリなどを定期的に除去する

電源プラグにホコリがたまると、湿気などによる絶縁不良が起こり、感電や火災の原因になります。

電源コンセントから電源プラグを抜くときはコードを引っ張らず、必ずプラグを持って抜く

コードを引っ張ると、コードの中の電線が切れ、ショートによる感電や火災の原因になります。

水分がかからない場所に設置し、周囲が乾いていることを確認してから電源プラグを差し込む

火災や感電の原因になる場合があります。また、ベットの尿やケトルからの水蒸気などがかからないようご注意ください。

子どもが本商品で遊ばないように注意する

けがや故障の原因になります。事故の原因になります。



プラグをコンセントから抜く

長い間使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いておく

電源プラグにホコリがたまると、湿気などによる絶縁不良が起こり、感電や火災の原因になります。



プラグをコンセントから抜く

フィルター交換やお手入れ、点検、本体の移動には必ず、運転を停止し電源プラグを抜き、ファンが停止していることを確認するタンクに直接水を入れる場合、給水の前に運転を停止し電源プラグを抜き、ファンが停止していることを確認してから本体から完全に取り出してからおこなう

水が漏れて家財を濡らしたり、故障、破損、感電やけが、漏電の原因になります。



禁止

この行為は禁止されています。

電源プラグが電源コンセントの形状に合わない場合、電源プラグを変形させて無理矢理差し込まない
感電や故障の原因になります。

付属の電源コード以外を使用しない
火災や感電、故障の原因になります。

運転中に電源コンセントから電源プラグを抜かない
火災や感電の原因になります。

電源コードや電源プラグを熱器具に近づけない
感電や火災の原因になります。

付属の電源コードを本商品以外に使用しない
火災や感電、故障の原因になります。

安全上のご注意



この行為は禁止されています。

禁止

子どもや身体、感覚または思考能力が低下していたり、経験や知識が不足している方は、保護責任者から指示、監督されない環境において使用したり、お手入れしないけがや事故の原因になります。

電源コードや電源プラグに負荷をかけない(加工する、傷つける、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重い物を載せる、束ねる、挟む、ペットがかかるなど)

電源コードや電源プラグに負荷がかかることによる感電や火災、ショートの原因になります。

電源タップや延長コードを使った「たこ足配線」で、定格を超えた接続をしない

電源コードや電源プラグの負荷が大きくなり、感電や火災の原因になります。

電源コードが破損した場合は、そのまま放置したり自分で修理したりしない

破損した状態のまま使用し続けると、感電や火災、ショートの原因になります。すぐに電源プラグを電源コンセントから抜き、「ブルーエアサービスセンター」へご連絡ください。

吸込口・吹出口や本体のすき間に指や金属物などの異物を入れない

感電やけが、故障の原因になります。

次のような可燃性の高いものを本体や電源プラグに近づけない

- ・ヘアスプレーや殺虫剤、消臭剤など
 - ・火のついたタバコや線香など
 - ・ベンジンやシンナーなど
- 引火や感電の原因になります。

腐食性物質や有機溶剤(例：ベンジン、シンナー、アルコール、ガソリンなど)を使ってお手入れしない

故障の原因になります。

電源がオンのまま横転させたり水を捨てたりしない
水が漏れて家財を濡らしたり、故障、破損、感電やけが、漏電の原因になります。

電源コードをカーペット、家具、電化製品の下に通したり、敷物で覆ったりしない

火災や故障のおそれがあります。

コードは通路に近づけない

転倒したり、水が漏れて家財を濡らしたり、故障、破損、感電やけが、漏電の原因になります。

UVライトを本体の外で動作させたり本商品以外で使用しない
本体やUVC搭載ユニットが破損した場合には使用しない

ポンプユニットには除菌を目的とした深紫外線(UVC)ライトを搭載しています。ポンプユニットに損傷がある場合、UVCが漏れる可能性があります。UVCはわずかな量であっても、目や皮膚に害を及ぼす可能性があります。

UVライトに触ったり、取り出したり分解・交換したりしない
けがや故障の原因になります

運転中に本体内部をのぞきこまない

UVCを直接見ると、UVCが目や皮膚に害を及ぼすおそれがあります。



分解禁止

自分で本商品を分解や改造、修理しない

商品内部には電圧の高い部分があります。感電や火災の原因になりますので、分解や改造、修理をしないでください。



濡れ手禁止

濡れた手で電源プラグをさわらない

濡れた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因になります。



水濡れ禁止

本体に水をかけない、本体を濡らさない

故障、破損、感電やけが、漏電の原因になります。



可燃物禁止

油や可燃性ガスなどを使用する場所、漏れるおそれのある場所に設置しない

引火や、ガス吸引による発火や発煙の原因になります。

安全上のご注意



注意

次の注意事項を必ずお守りください。注意を守らずに使用した場合、使用者のけがや周辺の物品損害を伴う事故につながる可能性があります。



指示

この行為を必ず実行してください。

壁などから10cm以上離して設置する

空気の流れが悪くなり、発熱や発火の原因になります。

安定した水平な床面に設置する

本商品は床置き専用です。壁にかけたり、棚に置いたりできません。万一、本商品が転倒すると、けがや家財破損の原因になります。

燃焼器具と一緒に使う場合は必ず換気する

本商品は換気が出来ません。そのため燃焼器具から発生する一酸化炭素による中毒の原因になる場合があります。

フィルター交換お知らせランプが点灯したら、フィルターを交換する

加湿集じん効果が得られないばかりか、故障の原因になります。

ブルーエア純正の付属品やフィルターを使用する

火災や設置不良による感電、けがなどの事故、故障の原因になります。純正品以外の付属品やフィルターを使用して生じた故障は保証の対象外です。

天面から給水する場合は給水前に電源を入れ、「スピード0」の設定でおこなう

最大給水量を警告する給水サインが点かず最大給水量以上給水し、本体が故障するおそれがあります。

天面から給水する際、ディスプレイの給水サインが点いたら給水を止める

最大給水量以上に給水すると本体が故障するおそれがあります。

本書のお手入れ方法に従い、定期的にお手入れする集じん効果や加湿効果が低下します。

フィルター・タンクは正しく取り付けて運転させる

加湿清浄効果が得られなかったり故障の原因になります。

凍結の恐れがあるときはタンク内とポンプユニットのトレーの水を捨てる

水が凍結した状態で稼働させると故障の原因になります。

加湿機能を使用しないときは、タンク内とポンプユニットのトレーの水を捨て、タンクを空にし、乾燥させて保管する

汚れや水垢により、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因になります。稀に体質によっては過敏に反応し、健康を害することがあります。この場合は医師にご相談ください。

本体を移動させるときはタンクやポンプユニットのトレー内の水を捨てる

水が漏れて家財などを濡らしたり、感電や漏電の原因になります。

タンクを取り外して給水した後はタンクの水分をきれいに拭き取る

感電や故障の原因になります。

タンクの水や本体内部、加湿ユニットを常に清潔にする

タンクの水は、毎日新しい水道水と入れ替える
お手入れせずに水垢や汚れ、白い塊が残ったまま使用すると、水漏れ、カビや雑菌が繁殖して悪臭の原因、稀に健康を害する原因になります。体調に異常があったときは医師にご相談ください。タンク、加湿ユニット、本体は定期的にお手入れしてください。

使用中は、窓や扉を閉めて使用する

加湿集じん効果が得られないおそれがあります。

安全上のご注意



この行為は禁止されています。

禁止

上に乗ったり、寄りかかったり、横倒ししたり、上に物をのせたりしない

転倒によるけがや故障の原因になります。

移動するときは、本体から外れる部分を持たない

落下によるけがや故障の原因になります。

浴室など高温多湿、水のかかる場所に設置しない

火災や感電の原因になる場合があります。

動植物に直接風が当たる場所に設置しない

動植物に長時間風があたり、乾燥する原因になります。

カーテンや物で吸込口や吹出口を塞がない

発熱や発火の原因になります。

発煙または霧タイプの殺虫剤使用時は運転しない

本体内部に蓄積した薬剤成分が、再運転後に吹出口から放出され、健康を害する場合があります。殺虫剤の使用後は十分に換気をおこなってからご使用ください。

フィルターを取り外した状態で稼働させない

加湿集じん効果が得られない他故障の原因になります。

ダストフィルターは水洗いしない

集じん効果が低下します。

直射日光が当たる場所で使用しない

変色の原因になります。

フィルターを外したり、プラスチックの包装がついた状態のまま運転しない

効果が得られないばかりか、故障の原因になります。

ストーブやガスコンロなどの熱源のそばで使用しない

熱で破損したり、変色するおそれがあります。

吹出口から出るミストを故意に吸引しない

健康を害するおそれがあります。

タンクの水を飲料用に使用しない。また、動植物にも与えない

体調不良や悪影響を及ぼすおそれがあります。

タンクを外したまま運転しない、稼働中にタンクを外さない、水がない状態で加湿機能を稼働させない、最大給水量を越えてタンクに水を入れない

水漏れによる感電やけが、故障の原因になります。

美術品や学術資料の保存など、特殊用途には使用しない

保存品の品質低下の原因になります。

美術品、電子機器（テレビ、パソコン、ピアノ、特殊な塗装家具など）の近くで使用しない

ミストや転倒による水漏れで美術品や機器が破損・故障することがあります。

加湿しすぎない

室内の結露やカビが発生する原因になります。

水道水以外は使わない、以下の水を使用しない

40度以上の温水、汚れた水、アロマオイル、次亜塩素酸などの化学薬品、芳香剤や洗剤を入れた水、浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水など。本体の変形や故障の原因になります。また、ポンプ用プレフィルターが目詰まりしたり、カビや雑菌が繁殖する原因になります。

電波に関するご注意

本商品の無線回路を分解または改造すると、法律で罰せられることがあります。以下の機器や無線局は、本商品と同じ2.4GHz周波数帯の電波を利用しています。これらの近くで本商品を使用した場合、電波干渉が発生する場合があります。

- ・ 産業・科学・医療機器（電子レンジ、無線LAN機器、防犯機器、心臓ペースメーカーなど）
- ・ 免許を要しない無線局（特定小電力無線局）

以下の機器や無線局（工場製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、アマチュア無線局）

以下の機器や無線局の近くで本商品を使用した場合、電波干渉が発生する場合があります。

- ・ 心臓ペースメーカーなどの医療機器に影響が及んだ場合、速やかに本商品の電源をお切りください。
- ・ 特定小電力無線局、構内無線局、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合は、ブルーエアーサービスセンターにお問い合わせください。

本商品について

製品名

2 in 1 加湿空気清浄機 DH3i

モデル番号

6331411000

本商品は加湿機能を搭載した多機能型の空気清浄機です。空気中の有害物質を除去しながら加湿することにより、室内空気から有害物質を除去して、きれいな空気の中で生活することができます。

本商品には、操作パネルとセンサー機能を備えており、本体のディスプレイではセンサーでとらえた空気質（微粒子PM2.5）と室内の湿度を表示します。本体の設定は、本体天面の操作パネルまたはBlueairアプリから、いつでも変更することができます。Blueairアプリを使用すると、本体ではできない細かな設定もできるようになります。

加湿空気清浄性能を最大限に発揮するためには

- 推奨フロア面積を目安とした広さの空間でご使用ください。
- 本体周辺に空気が循環できるスペースを空けてご使用ください。
- 本体の周辺10cm以内には物を置かないでください。
- 部屋の窓やドアを閉めた状態でご使用ください。
- Blueair 純正のダストフィルターと加湿フィルター、ポンプ用プレフィルターをご使用ください。
- ディスプレイにフィルター交換お知らせランプが点灯したら、フィルターを交換してください。
- その他本書「お手入れする」の記載内容に従って定期的にお手入れをしてください。

初めて使うとき

手順1

背面のパネルを開き、ダストフィルター（背面パネルと本体両側面）と加湿フィルターを取り出し、プラスチックの包装を取り外します。

手順3

電源プラグをコンセントにしっかりと奥まで差し込みます。

手順2

ダストフィルターと加湿フィルターを本体に戻し、パネルを閉じます。

*詳細は、「お手入れする」のダスト・加湿フィルターの交換方法のページをご参照ください。

手順4

本体のオン/オフボタンをタップし、本体の電源を入れます。

Blueair アプリに接続する

Blueair アプリに接続すると、離れた場所から本体を操作したり、ダスト/加湿フィルターの寿命やタンク内の水の残量を確認することができます。Blueair アプリを使用すると、本体の操作パネルではできない細かな設定もできるようになります。



手順1 App Store または Google Play から Blueair アプリをダウンロードします。

手順2 アプリを開きます。Blueair アカウントを作成するか、サインインします。

手順3 「本体を接続する」をクリックし、「Air purifying & humidifying（加湿空気清浄機）」を選択します。指示に従ってアプリのペアリングを完了します。

初めて接続するときのヒント

本体は必ずオンにしてください。オートモードボタンを約5秒間長押しし、本体とのペアリングを準備します。本体のWi-Fiインジケータが点滅すると、アプリとペアリングする準備ができたサインです。



初回ペアリング時にはBluetoothが必要です。スマートフォンのBluetoothをオンし、ペアリングのためにスマートフォンを本体から1メートル以内の距離に保ちます。



初回ペアリング時には、本体をWi-Fiルーターから4.5メートル以内に設置してください。



Blueair アプリを使用する際は、Wi-Fiネットワークが他のデバイスからも見えるようになっていないか確認してください。また、VPNはオフにしてください。



本加湿空気清浄機は2.4GHz Wi-Fiのみに接続できます。デュアルバンド Wi-Fiルーターを使用している場合は、必ず2.4GHzを選択してください。



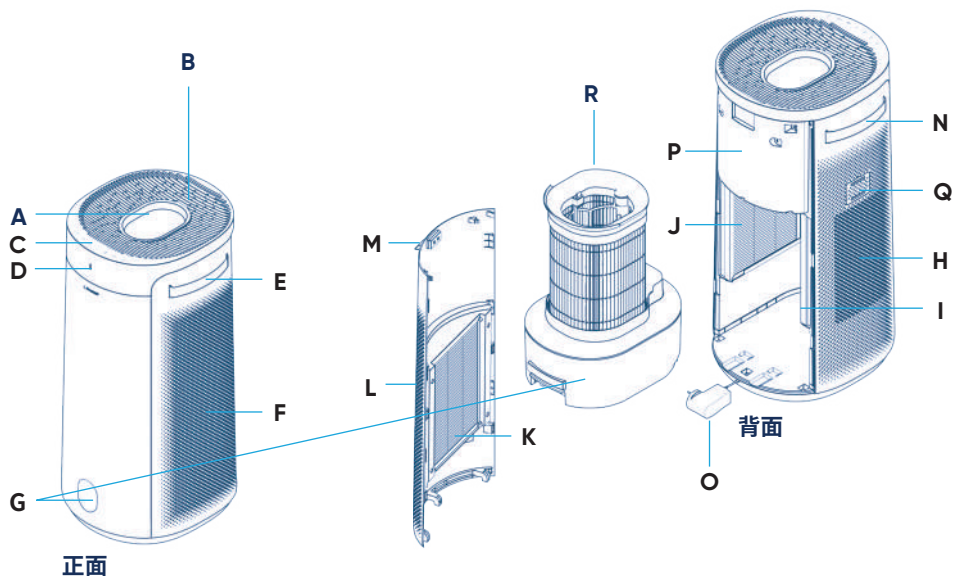
Wi-Fi接続の手順は、アプリのバージョンアップデートにより一部変更される場合があります。内容に相違がある場合、最新版アプリが示す手順に従って登録してください。

Wi-Fi接続について、詳細やご不明な点は、Blueair アプリまたは www.blueair.jp よりご確認ください。

各部名称

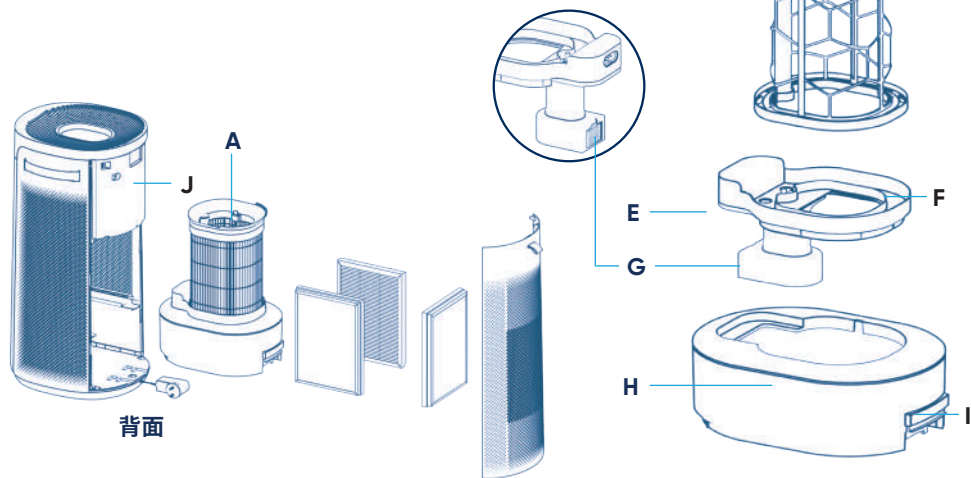
- A. ディスプレイ
- B. 吹出口
- C. 操作パネル
- D. 空気環境ステータスランプ
- E. ハンドル [側面]
- F. 吸込口 [側面]
- G. 水位確認窓 (内側にはタンクがあります)
- H. 吸込口 [側面]
- I. ダストフィルター (プレフィルター含む) [側面]
- J. ダストフィルター (プレフィルター含む) [側面]
- K. ダストフィルター (プレフィルター含む) [背面]
- L. 吸込口 (パネル) [背面]
- M. レザータグ
- N. ハンドル [側面]
- O. アダプター
- P. ファン、モーター [内部]
- Q. センサー
- R. 加湿ユニット (次ページ参照)

*図には記載されていませんが、取扱説明書も同梱されています。



加湿ユニットの各部名称

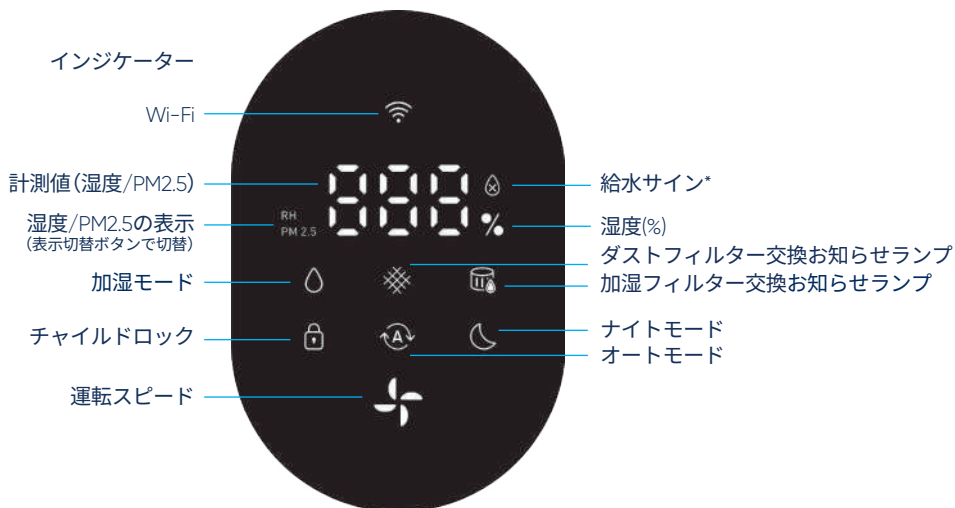
- A. 加湿ユニット
- B. 加湿フィルターフレーム [上部]
(再使用可能なので廃棄しないでください)
- C. 加湿フィルター (抗菌) *
- D. 加湿フィルターフレーム (内部)
(再使用可能なので廃棄しないでください)
- E. ポンプユニット (UVライト内蔵)
- F. ポンプユニットのトレイ
- G. カートリッジ (ポンプ用プレフィルター搭載)
- H. タンク
- I. タンクハンドル
- J. エアチャンネルカバー
(シリアル番号・モデル名記載の製品ラベル貼付)



操作パネルの使い方

ディスプレイ

*タンクの水位が95%を超えた時と、水がなくなった時にランプが点きます。



操作パネル



電源



明るさの変更



ナイト
モード



表示切替



運転
スピード










オート
モード



加湿モード

操作パネルの使い方

	電源	電源のオン/オフを切り替えます。約5秒間長押しすると、チャイルドロック機能が作動し、チャイルドロックインジケータがディスプレイに表示されます。安全上、チャイルドロックがかかっている場合、オン/オフは操作することができないようになっています。チャイルドロックを無効にするには、再度オン/オフボタンを約5秒間長押しします。工場出荷時の設定にリセットするには、ディスプレイが2回点滅するまで約15秒間長押しします。すると、約10秒後にリセットされます。
	明るさの変更	ディスプレイの明るさを0～6段階で変更します。
	ナイトモード	ナイトモードのオン/オフを切り替えます。ナイトモードが有効になると、ナイトモードインジケータがディスプレイに表示され、運転スピードが最低速度まで落ちます。ナイトモードでは、ナイトモードのインジケータが薄暗く点灯し、その他すべてのインジケータが消灯します。
	表示切替	ディスプレイのPM2.5と湿度の計測値を切り替えます。
	運転スピード	運転スピードを0-1-2-3-4の段階で変更します。ディスプレイが点滅するまで約15秒間長押しすると、ダストフィルターの交換時期がリセットされます。
	オートモード	加湿モードが無効な場合、ファンスピードはセンサーで感知した室内のPM2.5レベルに基づき自動調整され、最適な空気質を確保します。加湿モードが有効な場合、ファンスピードは室内のPM2.5レベルに基づき自動調整するとともに、センサーで感知した湿度に基づき目標湿度%に到達するよう自動調整されます。Blueairアプリとのペアリングをするには、ディスプレイが点滅するまで(約5秒間)長押ししてください。Wi-Fiをリセット/無効にするには、ディスプレイが2回点滅するまで(約15秒間)長押ししてください。
	加湿モード	加湿機能のオン/オフを切り替えます。ディスプレイが点滅するまで約15秒間長押しすると、加湿フィルターの交換時期がリセットされます。

オートドライモード

オートドライ機能

オートドライモード機能では、加湿フィルターに微風を送ることで、加湿フィルターを清潔な環境に保ちます。

本体は、デフォルトでオートドライモードが有効な状態で設定されています。
オートドライモードの稼働中は、加湿モード  のインジケータースイッチが点滅します。

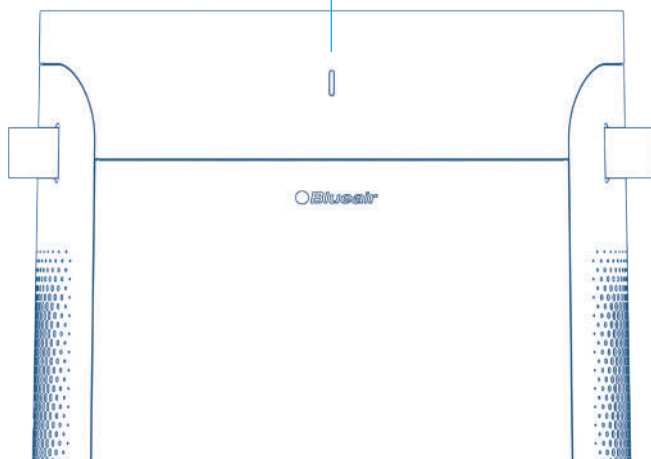
オートドライモードの詳細については、公式サイトFAQからご確認いただけます (<https://www.blueair.jp/support/faq>)。

空気質の表示

本商品には、お部屋の微粒子(PM2.5)を測定するセンサーが搭載されています。空気環境ステータスランプでは、お部屋の空気の状態を青色の「とてもきれい」から赤色の「非常に汚れている」までの5色で表示します。



空気環境ステータスランプ



お手入れする

重要：お手入れをする前には必ず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



ダストフィルター交換
お知らせランプ



加湿フィルター交換
お知らせランプ

フィルター交換について

本商品は、ご使用状況とセンサーで感知した数値に基づき、ダストフィルターの使用残を計算します。フィルター交換の時期になると、天面ディスプレイのダストフィルター交換お知らせランプが赤色に点灯しお知らせします。ご使用の環境により異なりますが、ダストフィルターは約6～9カ月ごとの交換をお勧めします。加湿フィルターとポンプ用プレフィルターは約6カ月ごとの交換をお勧めします。

加湿空気清浄性能を最大限に発揮するため、Blueair 純正のフィルターをご使用ください。純正以外のフィルターを使用して故障した場合、保証の対象外となります。シリアル番号とモデル名は、エアチャンネルカバーの表面に記載されています。新しいフィルターは、www.blueair.jp からご注文いただくか、Blueair フィルター定期便 (https://store.blueair.jp/category/FILTER_SUBSCRIPTION/)にお申し込みください。



重要：本体を移動させる前、タンクに直接給水する前、各種フィルター交換前、お掃除などのお手入れを行う前には、必ず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。各種フィルター交換後、手動でフィルター交換時期をリセットする必要があります。ダストフィルター交換お知らせ時期のリセットは、運転スピードボタンを約15秒間長押しします。加湿フィルター交換お知らせ時期のリセットは、加湿モードボタンを約15秒間長押しします。

お手入れする

本商品の加湿空気清浄機能を最高の状態に保つためには、定期的なお手入れが欠かせません。お手入れの際は、以下の推奨事項に従ってください。

お手入れする際の注意

重要：お手入れをする前には必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ・感電やけが、故障の原因になりますので、吸込口や吹出口など本体のすき間に異物を入れないでください。
- ・故障の原因になりますので、腐食性物質や有機溶剤（例：ベンジン、シンナー、アルコール、ガソリンなど）を使用してお手入れしないでください。
- ・濡れた布でお手入れをした場合は、電源プラグをコンセントに差し込む前に、本体がきちんと乾いていることをご確認ください。
- ・ダストフィルターは水洗いをしないでください。水洗いをすると使用することができなくなります。

お手入れ方法

	パーツ	頻度	お手入れ方法・備考
お手入れ パーツ	ダストフィルターのプレフィルター	月に1回	掃除機にブラシなどのパーツを付けたもので掃除するか、柔らかいブラシや柔らかい布などできれいにする*
	加湿フィルター（抗菌） ポンプ用プレフィルター・カートリッジ	週に1回	水洗い、またはクエン酸を使って洗います 推奨：水4Lにクエン酸24gが適量。*時間浸した後水道水でよくすすぐ
	タンク	週に1回	中性洗剤を使って洗う（水は毎日交換） タンク外側の水分を拭き取ってから加湿ユニットに戻す
	加湿ユニット	汚れが気になるとき	加湿フィルターフレームは、水でよくすすぎ洗い ポンプユニットのトレイは、硬く絞った清潔な布で汚れを拭き取る 注意：ポンプユニットは電極がついているため水洗いできません
交換 パーツ	ダストフィルター	約6〜9カ月に1回交換	水洗い不可
	加湿フィルター・ポンプ用プレフィルター	約6カ月に1回交換	ポンプ用プレフィルターは加湿フィルターに同梱

*ダストフィルターのプレフィルターのお手入れ方法のページをご参照ください。

その他のパーツのお手入れ

- ・本体の外側（ディスプレイ面含む）や背面パネルの内側は、水分を含ませて固く絞った柔らかく清潔な布で拭いてください。
 - ・吸込口や吹出口は、掃除機にブラシなどのパーツを付けたもので掃除してください。
 - ・電源コードや電源プラグは、摩耗や破損していないことを確認してください。
 - ・ダストフィルターを交換する際には、センサー部も掃除してください（詳細は「センサーのお手入れ方法」ご参照）。
- ※各種フィルターの交換方法やお手入れ方法の詳細は、次ページ以降をご参照ください。

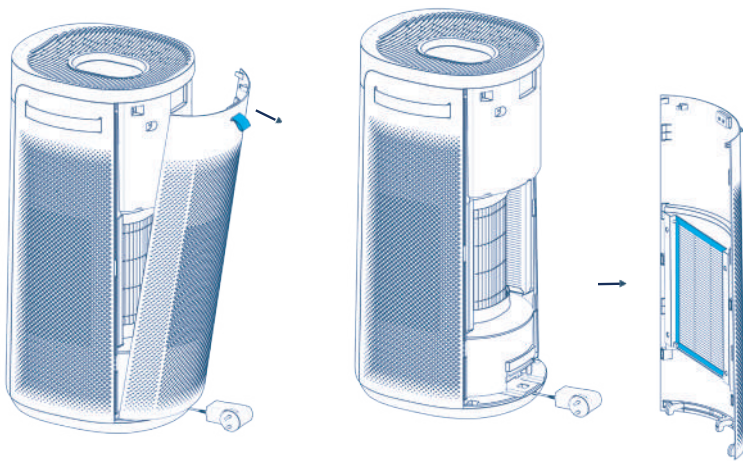
お手入れする

ダストフィルターの交換方法



ダストフィルター交換お知らせマークが赤色に点灯したら、フィルターの交換時期です。ご使用の環境により異なりますが、約6～9か月ごとのフィルター交換をお勧めします。

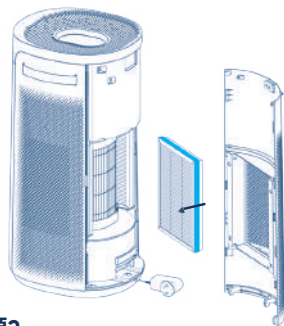
重要：お手入れの前には必ず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



手順1

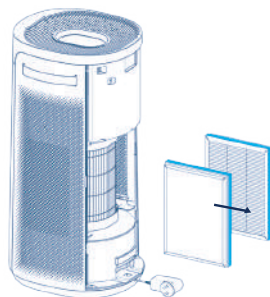
レザータグを引き、パネルを開きます。

お手入れする



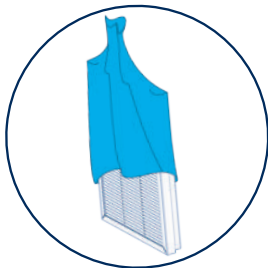
手順2

パネルに取り付けられているダストフィルターをフィルターのタグを引っ張りながら取り出します。

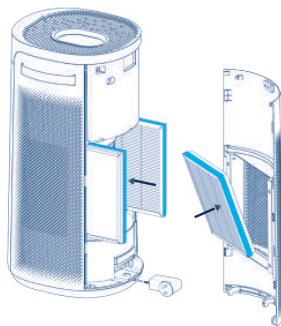


手順3

両側面にあるダストフィルターもタグを引っ張りながらスライドさせて取り出します。



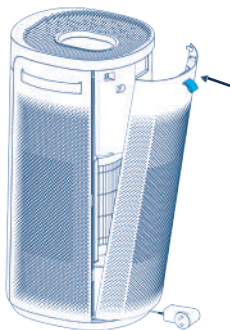
重要：新しいダストフィルターは、プラスチックの包装を必ず取り外してから本体に取り付けてください。



手順4

新しいダストフィルターを本体の両側面と背面に取り付けます。(一方の面にはプレフィルターがついているため、取り付ける面はラベルの指示に従ってください)。

お手入れする



手順5

パネルを元に戻します。



手順6

フィルター交換後、手動でフィルター交換時期をリセットする必要があります。フィルター交換後、運転スピードボタンを約15秒間長押しすると、ダストフィルター交換お知らせランプがリセットされます。

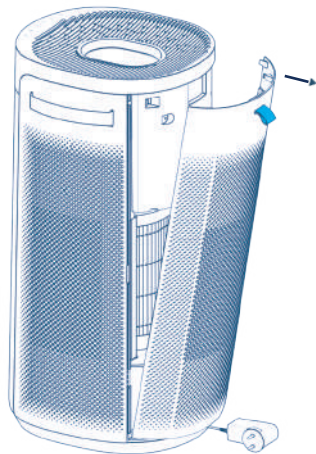
お手入れする

加湿フィルターの交換方法



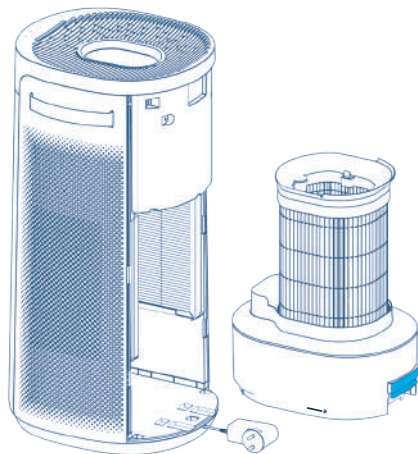
加湿フィルター交換お知らせランプが赤色に点灯したら、加湿フィルターの交換時期です。ご使用の環境により異なりますが、約6カ月ごとの加湿フィルターの交換をお勧めします。

重要：お手入れの前には必ず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



手順1

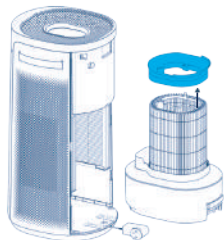
レーザータグを引っばってパネルを開き、取り外します。



手順2

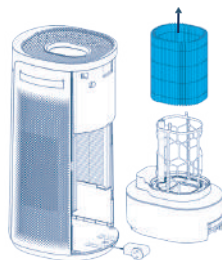
タンクハンドルを上へ引き、加湿ユニットをスライドさせて取り出します。

お手入れする



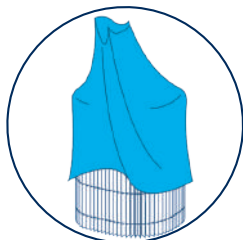
手順3

加湿フィルターフレーム(上部)の両サイドの2か所の突起部分を押し、加湿フィルターフレーム(上部)を取り外します。

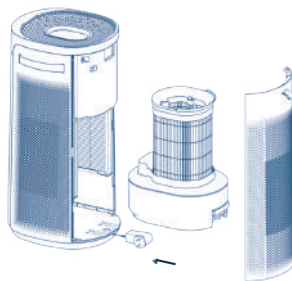


手順4

加湿フィルターを加湿フィルターフレーム(内部)から持ち上げて取り外します。



重要：新しい加湿フィルターは、プラスチックの包装を必ず取り外してから本体に取り付けてください。



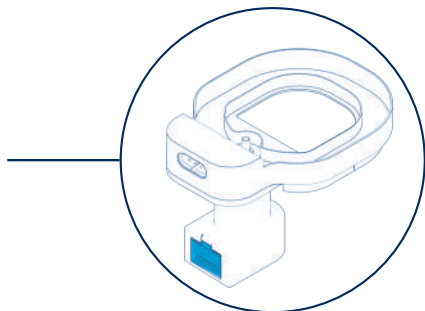
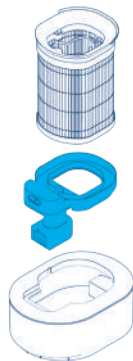
手順5

新しい加湿フィルターを加湿フィルターフレーム(内部)に取り付けた後、加湿フィルターフレーム(上部)を取り付けます。加湿ユニットをスライドさせて本体に戻しパネルを閉じます。

※フィルター交換後、手動でフィルター交換時期をリセットする必要があります。フィルター交換後、加湿モードボタンを約15秒間長押しすると、加湿フィルター交換お知らせランプがリセットされます。

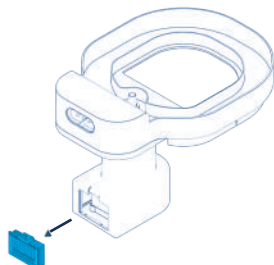
お手入れする

ポンプ用プレフィルターの交換方法



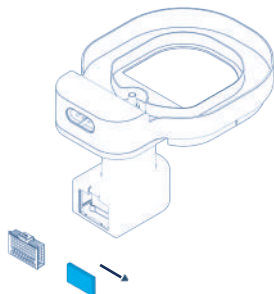
手順1

加湿ユニットからポンプユニットを取り外します。



手順2

ポンプ用プレフィルターのカートリッジをゆっくりと本体から取り外します。



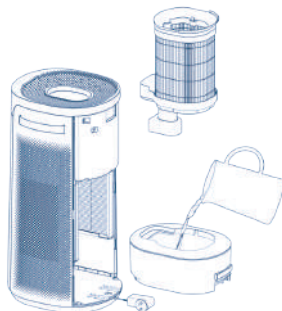
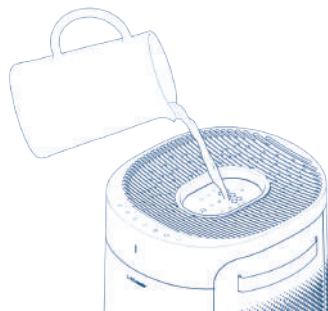
手順3

カートリッジ内のプレフィルターを取り外し、新しいプレフィルターに交換します。逆の手順で加湿ユニットに戻し交換を終えます。

お手入れする

タンクへの給水方法

注意：加湿機能を正常に稼働させるために、タンクは週1回掃除してください。
タンクの水は毎日交換し、タンクのお手入れは中性洗剤を使用して洗ってください。
タンクに直接給水する前とお手入れの前には必ず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、ファンが作動していないことを確認してください。



タンクへの給水方法は、以下の2通りがあります。

1: 天面のディスプレイ面から給水する (推奨)

天面から給水する場合は給水サインを有効にするため、電源をオンの状態にし、運転スピードは0にしてください。ディスプレイ面(防水仕様)にゆっくりと水を注ぎます。

注意：95%まで給水されると給水サインが点くので、給水を止めてください。(最大給水量以上に給水してしまうと、本体が故障する恐れがあります。)

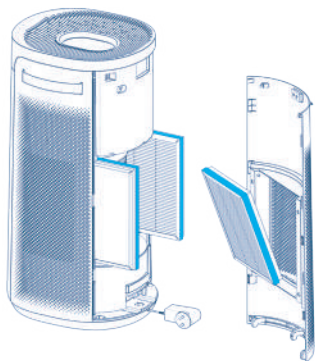
2: タンクに給水する

本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、ファンが作動していないことを確認します。背面のパネルを開き、タンクハンドルを引きながら加湿ユニットを本体からスライドさせて完全に引き出します。ポンプユニットから上部全体を持ち上げて取り外し、タンク開口部からゆっくりと水を注ぎます。

注意：タンクに印されている最大給水ラインを超えて注がないでください。
給水後、必ずタンク外側の水分を拭き取ってから加湿ユニットを組み立ててください。

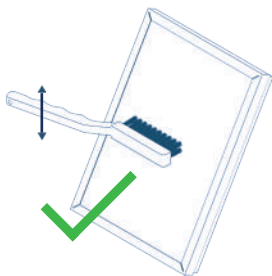
お手入れする

ダストフィルターのプレフィルターのお手入れ方法



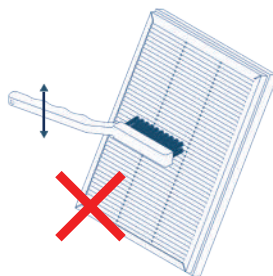
手順1

背面パネルを開け、両側面と背面に取り付けられているダストフィルターを取り外します。



手順2

ダストフィルターのプレフィルターのついたメッシュがついた面を掃除機にブラシなどのパーツを付けたもので掃除するか、柔らかいブラシや布などで掃除します。



注意：ダストフィルターのじゃばらになっている面は掃除しないでください。

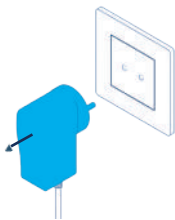
手順3

お手入れが終了したら、ダストフィルターを両側面と背面に戻し、パネルを閉じます。

お手入れする

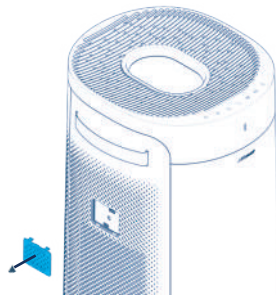
センサーのお手入れ方法

重要：センサーをお手入れする際は、指で直にセンサーに触れるなどせず、綿棒をご使用ください。センサーは本体左側に搭載されています。ダストフィルターを交換する際、センサーカバーとセンサーもお手入れしてください。



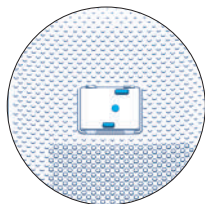
手順1

本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。



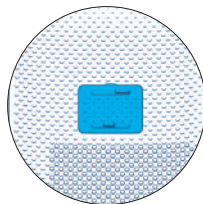
手順2

センサーカバーを手で取り外します。



手順3

センサー付近は掃除機にブラシなどのパーツを付けたもので掃除し、センサーそのものは綿棒で汚れを取ります。



手順4

センサーカバーを元に戻し、電源プラグをコンセントに差し込みます。

本体を移動する

重要：本体を移動させる前に、必ず電源をオフにし電源プラグをコンセントから抜き、タンク内の水を捨ててください。

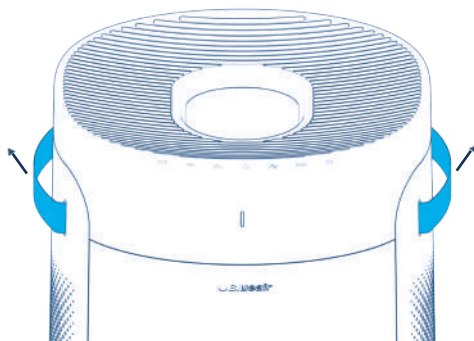
- 移動させる前に、本体背面のパネルが完全に閉まっていることを確認してください。
- 本体にはハンドルが付いているので移動しやすい設計になっています。本体を移動させるときは、以下の手順に従ってください。

手順1

本体側面についているハンドルを両手でしっかりと持ちます。

手順2

両手で本体をまっすぐ持ち上げ、移動させます。



困ったときは

このようなときは	考えられる原因	次をお試しください
本体のディスプレイに赤いランプが表示されています	フィルターの交換時期です。	1. 本書の指示に従って各フィルターを交換してください。 2. フィルター交換後、手でフィルター交換時期をリセットする必要があります。ダストフィルター交換後、運転スピードボタンを約15秒間長押しすると、ダストフィルター交換お知らせランプがリセットされます。加湿フィルターの場合は交換後、加湿モードボタンを約15秒間長押しすると、加湿フィルター交換お知らせランプがリセットされます。
本体の音が大きすぎます	高速設定にすると、より速く稼働するために運転音が大きくなります。 フィルターにプラスチックの包装がついたままになっています。 フィルターが汚れて目詰まりしていると、本体は十分な風量を得られず、運転音が大きくなる可能性があります。	運転スピード(ファンの回転数)を下げると静かになります。 フィルターからプラスチックの包装が取り外されていることを確認してください。 本体のプラグを抜き、掃除機に柔らかいブラシアタッチメントを装着して、本体の側面と背面の吸込口に丁寧に掃除機をかけてください。 フィルター交換お知らせランプが赤く表示されている場合はフィルターを交換してください。
本体をアプリに接続できません	ペアリング中、本体がスマートフォンやルーターから遠すぎる可能性があります。 Blueair アプリが最新ではない可能性があります ルーターの電源が入っていないか、接続されていない可能性があります。ルーターが通常の接続状態ではない可能性があります。 Bluetoothが無効になっている可能性があります。	1. ペアリングするとき、お使いのスマートフォン、加湿空気清浄機本体、Wi-Fiルーターが同じ部屋にあり、4.5メートル以内にあることを確認してください。ペアリングが完了したら、本体を希望の場所に設置できます。 2. 本体の電源プラグがコンセントに差し込まれ、電源が入っていることを確認してください。 アプリストアからBlueairアプリの最新バージョンをダウンロードしてください。 以下の点を確認してから、本体との接続を再度お試しください。 1. インターネットが現在稼働していますか 2. 2.4GHz ネットワークを使用していますか 3. VPN は無効になっていますか スマートフォンの設定でBluetoothが有効になっていることを確認してください。
本体の接続が切れてしまいました	一時的なWi-Fiの通信障害が発生した可能性があります。 Wi-Fiまたはルーターの設定が変更になった可能性があります。	数分経っても自動的に再接続されない場合は、以下をお試しください。 1. Blueair アプリを開きます。 2. お使いの商品を選択し、「本体を設定する」をタップします。 3. 「本体を削除する」をタップします。 4. ホーム画面に戻り、「本体を接続する」をタップします。本体の接続手順に従い再度接続してください。

困ったときは

このような時は	考えられる原因	次をお試しください
室内の空気質が改善しません	室内の空気がひどく汚れている可能性があります。 センサーにホコリが付着して実際とは異なる空気質が表示されている可能性があります。 ご注意：初めてご使用される場合には、内蔵のセンサーが新しい環境に合わせて調整されるため、完了までにおよそ数時間～最大1日かかります。そのため、初回起動時には空気環境ステータスランプは「青色」に点灯します。	1. 電源プラグをコンセントから抜き、約30秒待ちます。 2. 本体側面にあるセンサーの周囲や吸込口に物やホコリがないことを確認してください。 3. センサーを本書の指示に従って掃除します。 4. 電源プラグを再度差し込み、電源ボタンを押します。 本商品を使用しても換気しても空気質が改善されない場合は、ブルーエアサービスセンターまでお問い合わせください。
加湿機能が停止してしまいました ミストが出ていないようです	タンクの水がなくなっている可能性があります。 本商品は、霧の出ないより衛生的な気化技術を使用しています。	タンクに水を入れてください。 それ以外の解決方法は公式サイト (https://www.blueair.jp/support/faq/)もご確認ください。
加湿ユニットの周辺が結露で濡れている、または濡れています	タンクが正しく設置されていない可能性があります。	タンクに直接給水したとき、タンク内の水を交換するときやタンクを設置し直すときに、タンクの外側の余分な水分を拭き取ってください。
加湿ユニットの内部にカビが生えています	加湿ユニットのお手入れが不十分な可能性があります。	「お手入れ方法」を参考に、加湿ユニットの各お手入れパーツを推奨された頻度でお手入れしていただくことをおすすめします。
部屋の湿度が変わりません	窓が開いているなどの外的要因が影響しているか、部屋が推奨面積より広すぎる可能性があります。	窓や扉を閉め、推奨面積以内の場所に設置してください。

その他の問題が起きた場合は、www.blueair.jp/support をご確認くださいか、ブルーエアサービスセンターへお問い合わせください。

アフターサービスについて

困ったときや、消耗品をお求めの際は、www.blueair.jp をご確認くださいか、ブルーエアサービスセンターへお問い合わせください。

保証について

本書に記載された内容に従わず使用して故障した場合は、保証の対象外になりますのでご注意ください。

返品のご相談

商品の返品につきましては、お買い上げいただいた店舗へご相談ください。

お客様相談窓口のご案内

ブルーエアサービスセンター
0120-974-419 平日9:30～17:30(土日・祝日・年末年始除く)
携帯電話からもご利用いただけます。

発売元: セールス・オンデマンド株式会社
住所: 東京都品川区上大崎二丁目15番19号 MG目黒駅前ビル 713

主な仕様

主な仕様

Blueair 2 in 1 加湿空気清浄機 DH3i

品番	111810
モデル番号	6331411000
電源	100-240 V AC 50/60Hz
CADR値に基づく推奨フロア面積 ¹ (空気清浄運転時)	約 28 m ² (約17畳)
CADR タバコ煙/ホコリ/花粉 ¹ (空気清浄運転時)	194 cfm (330 m ³ /h)
最大消費電力 (加湿空気清浄運転時)	48 W
運転音 (加湿空気清浄運転時)	23-52 dB(A)
外形寸法	幅約 305 x 奥行き約 340 x 高さ約 660 mm
本体質量	約 9.1 kg
タンク容量	約 3.5 L
加湿方式	気化式
フィルター交換目安 ²	ダストフィルター：約6~9カ月 加湿フィルター・ポンプ用プレフィルター：約6カ月

¹:ANSI/AHAM AC-1 に基づく。²:1日24時間使用の場合の目安。

本体を廃棄するときは

本商品を廃棄する場合は分解せず、お住まいの自治体の指導に従ってください。



www.blueair.com

Blueair Inc.

125 S Clark,

Suite 2000,

Chicago, IL, 60603 USA